

ワクワクづくり基地計画書

—ひいおじいちゃんが建てた建物のコンバージョンと周辺地域の自然整備—

橋本雅好研究室 設計 日野珠海

私の夢は誰かにとっての居場所をつくること。闘病で高校に通えなかった実体験から、いつか自分と同じ悩みを抱える人の家でも学校でもない第3の居場所をつくりたいと思うようになった。この卒業設計は私の夢を叶えるための青写真であり、計画の進行報告である。

敷地

愛知県大府市神田町に位置する、**私のおじいちゃんの家にある離れと作業場、隣接するため池・ちびっ子広場**とする。放置された建物と自然があること、建物は大工だったひいおじいちゃんが建てたものであることなどから選定した。母屋には現在も祖父母が暮らしているが離れ・作業場共に長年使われておらず、ただの物置になっていた。

敷地周辺について

高低差が特徴的。東にかけて低くなっており、西側はこの辺で最も高い。池のバス停には大府のふれあいバスが停まる。保育園・小学校・老人ホームと**多世代が集まる施設**がある。

既存の状態

周辺地域の自然

木や草が伸び放題で池も濁っている。
敷地からの道中は道が崖になっており危険。



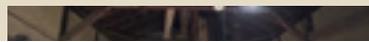
離れ

数年前掃除したため状態は綺麗。電気がつかないので非常に暗い。節の無い柱から、ひいおじいちゃんのこだわりの強さを感じる。



作業場

物が放り込まれ、非常に危険。壁の内側は土壁、床は土になっており、窓にもたどり着けないため埃っぽい。まずはここを綺麗にするところから・・・



設計趣旨

ほとんど会話することがないまま対話をし、ひ孫である私が継承まで皆が**ワクワクする居場所**に変わ

地域の現状

- ・居場所づくりに取り組む団体や施設
- ・サロン・学童・ワークショップなど
- ・近くにあっても情報が届かず出会う機会が少
- ・SNSやゲーム機の普及により**中で**つながり
- ・遊び場になるはずの**自然が放置**さ

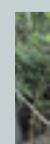
ワクワク活動記録

敷地候補調査



実際にやることを前提とし空き家探しをした所、①父方の祖母家の隣の空き家(左)と②母方の祖母家の作業場と離れ(右)が候補にあがった。

お散



近く通って



ものづくりで居場所をつくる

設計手法

まなくなったひいおじいちゃんが残された建築を通して
 感じつつ、ものづくりを通して地域の子どもから大人
 へ変える。

私は地域活動を通して、ものづくりは多世代共通の楽
 しみであると感じた。例えば工作やお絵描き、
 かご編み、庭づくり、お菓子作りなど、趣味の範囲の
 「職人」が地域にはたくさんいる。
 その人たちがここで自由に作ったり、展示したり、教
 えたりできる場所にする事で、自然と多世代交流が
 生まれる。ものづくりの楽しみを共有することで居場
 所になっていく。

地域活動から刺激を受ける度に「計画書」を描き、ブラッ
 シュアップしていく。

設計に飛び込むハードルが高く、少年少女の参加は少ない。
 ど提供する側の拠点が不足している
 えない

遊ぶことが多い
 れ危険化している



私が1年間やってきたことを日記風にまとめてみた。

散歩（敷地→神田小学校裏→北尾）



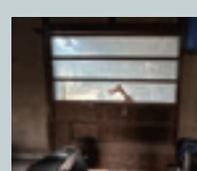
のワクワクする場所を探すためたくさん歩いた。
 ていた小学校の裏山で遊んだことを思い出し行
 ると、荒れていた竹林が整備され、開けた場

作業場の大掃除



建物の全貌を見るため大掃除。昔から危ないと言われ入ったことがなかっ

じいじと作業場の扉づくり



穴の開いた青いア
 クリル板がはまっ
 ている。
 物々しい雰囲気を
 加速させているの
 で、明るいデザイ
 ンに変えたい。

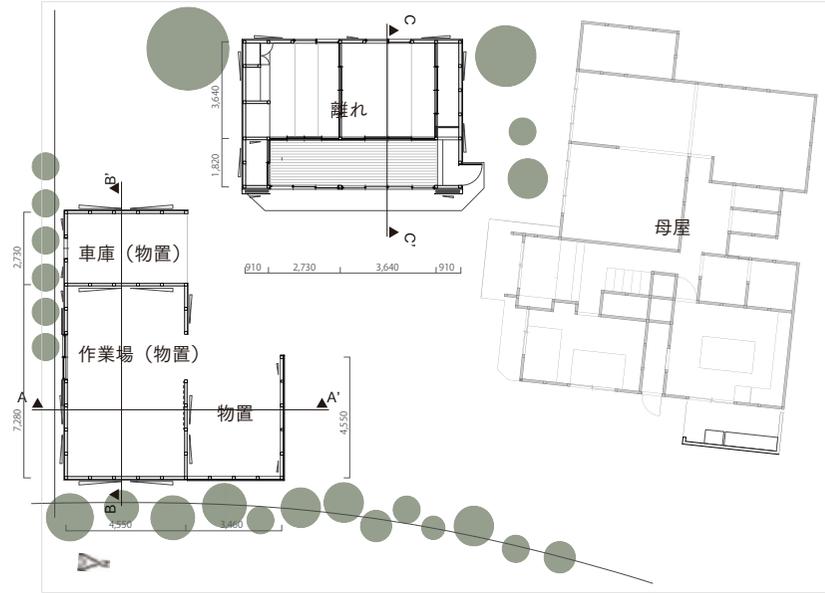
複数のデザイン案



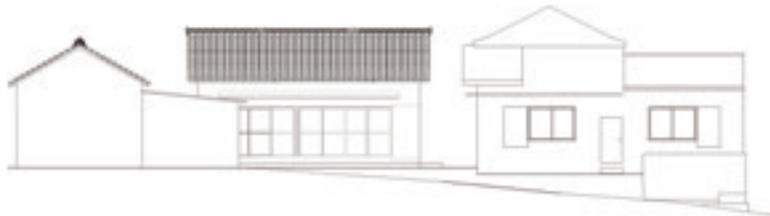


どちらも近くに学校・公園があり好条件だったが、ひいおじいちゃんが建てた建物自体の魅力があること・私の家から近いことから右に決定。

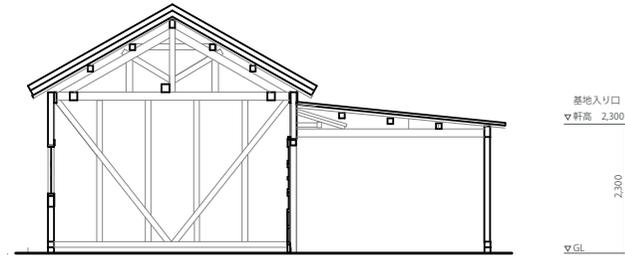
既存図面



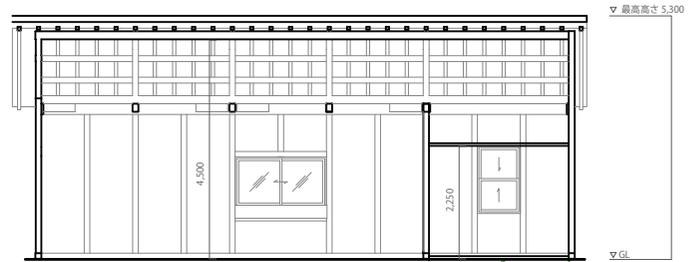
既存平面配置図 S 1:100



既存全体東側立面図 S 1:100



作業場 A-A' 断面図 S 1:50

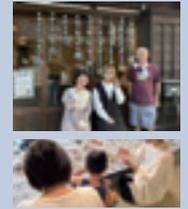


作業場 B-B' 断面図 S 1:50



離れ C-C' 断面図 S 1:50

研究室 亀崎プロジェクト



大学の研究室のプロジェクトの街かどサロンの話になった。まちづくりの魅力を、具現化してデザインし展示元のちびっこを対峙したり、亀崎のイベントとして関わった。このような経験と人脈には亀崎のまちづくりが期待されていた。

全世代型サロン キュリオス



飛び込みで参加しお話を聞くことが昼ごはんも食べた。神田公民館で開始で、月に一回イベントしている。この日は防災グッズ作りとハーバリウム作り近くの学童の代表さん、大府の民生委員さんなどと地域の課題や実際の居場所づくりのことができた。

★ : 計画書作成

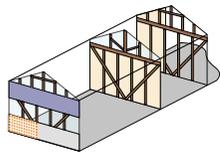
4月

5月

1. ものづくりができる場所を整える

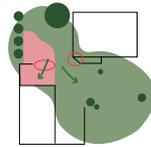
壁を抜いて工房内を明るくする

露出している筋いから構造を推測し、意匠にも生きるように設計する。南面に窓を増やし、構造用合板で補強する。右の窓の下に発見した謎の穴はガラスブロックをはめる。



奥の庭を手前に染み出させる

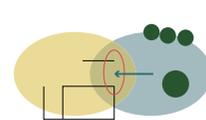
車庫から拡張するように庭・作業場まで土間をはることで庭と建物を繋ぐ。また車庫西側の壁を一部抜くことで視界を抜けさせ、基地全体に庭を広げる。



2. 地域に開く みんなでつくる

エントランスが基地と広場を繋ぐ

作業場横にある軒下の東側の壁を大きく抜いて基地の入り口にする。作業場の大掃除で発掘した建具を継ぎはぎして作る大きな扉が迎える。



離れにキッチンを増築してつくる

離れの縁側にキッチンを、何度にトイレを増築する。休憩したり、団体に貸し出したり、レンタルキッチンにしたり、襖の使い方によって様々な空間の使い方ができる。



入りの看板をたよりに調べてみ
早速会いに行くことにした。

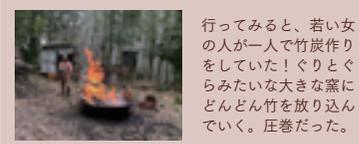
たのでドキドキしながら潜入した。子どもが使わなくなったおもちゃや普
使っていた家具、亡くなったひいおじいちゃん達の物が沢山出てきた。初
めは辿り着けず開けられなかった窓も開けられるようになった。奥に行く
ほど余っている建材や使われていた道具や図面が出てきてまるで家宝が
あった。



元々手作りのドアなのでフレームは完全に残し、
新たにサンとプラダンを取り付ける。斜めの材が
多いため苦戦した。後半はついに綺麗になった作
業場で作業することができ、感動！

出来上がり！
裏と表で表情が違うのはじいじのこだわり。中にいると外か
らの光が透けて綺麗。当初の目標通り明るくなった。

BUNKAI PROJECT 竹炭づくり見学



行ってみると、若い女
の人が一人竹炭作り
をしていた！ぐりとぐ
らみたいな大きな窯に
どんどん竹を放り込んで
いく。圧巻だった。

どんな活動をしているのか、どのようにして始め
たのかなど沢山教えていただいた。私がやりたい
ことも相談した。夏の間は定例整備をお休みにし
ているため、秋から参加することを約束。楽しみ！

お宝発見！

藤の乳母車 ペニヤ板に描かれた図面
窓や扉などの建具 16 枚 おしのテスト

定例整備 ほぼ毎週参加



妹や裏山と一緒に遊んでいた友達も誘い皆で参加。枯れ竹や青竹を運んだり、ノコギリで切ったり。初めはうまくできなかった私も、皆さんに教えてもらい今は一人で生えてる竹を切ることもできます！大府市内外いろんな所から集まり、多いと30人以上いるときも。行くたびに何か楽しいことがある、とてもあたたかいコミュニティ。

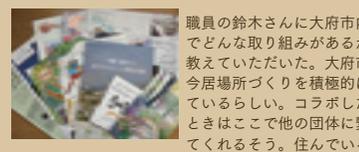
成田キャンプ3週連続参加！ BOUNEN 会



BUNKAI の棟梁成田さんのキャン
プ。お手製おでんと共に、火を見
ながらとっても贅沢な時間を過
させていただきました。

会場はメンバーのヤス君が持つ工場 2 階の広い和
室。竹と大府でいっぱい会だった。居場所づく
りは人と人の繋がりがだと再認識。設計の話も皆真
剣に聞いてくれて、使いたいと言ってもらえた。

大府市民活動センターコラピア訪問



職員の鈴木さんに大府市内外
でどんな取り組みがあるかを
教えていただいた。大府市は
今居場所づくりを積極的にし
ているらしい。コラボしたい
ときはここで他の団体に繋が
てくれるそう。住んでいるの
に知らないことばかりでとて
も勉強になった。

手あたり次第回収して
情報を集める・・・

(株) ユニソンたにぐち研



面白い活動をしている人た
ちが集まり、立ち話をして
情報交換する会。BUNKAI
のきなさんがゲストの回
だったので招待してもらっ
た。南知多で食を通じた地
域活性化運動をしている人や、オンラインで居場所づく
りをしている人、防災のハードルを下げるためオリ
ジナル商品の開発や講演をしている人など、いろんな
人とお話しでき、知見が広がった。

ハナレ食堂 訪問



離れをみんなでピカピカにしてきたハナレ食堂。
きなさんが連れて行ってくれた。大府のママさん
達が経営しており、メニューはすべておおご
クや庭で採れた野菜、BUNKAI の竹炭パウダーな
ど、大府に溢れていてどれもおいしかった！

紹介
BOUNEN 会のごはん作って貰いました！



全世代型サロン キュリオス



二回目の参加。この日のイベントはフラワーアレンジ
だったが人数制限でできず。その分たたくさんまちづく
りについてお話できた。いつも参加しているおじさん
が柿を持ってきてくれて温まった。

花壇に集まれ！セレトナ緑化大作戦⑤



初めて参加。元気なお年寄りが多い印象で、若者は私
だけだった。説明を聞いて順番に皆で作業するかと思
い方や、始まるなりそれぞれ草取りやレンガ積みなど
自分で動いてできることをしているのに驚いた。園内
をお散歩している人たちが応援してくれたり、差し入
れを持ってきてくれたりして愛を感じた。

花壇に集まれ！セレトナ緑化大作戦⑦



チューリップの球根植えとサクラの剪定がメイン。2
回目は覚えてくれている人もいて前回よりも会話があ
ってきた。前回作り途中だったレンガの花壇は完成して
、木が植わっていた。1年の間にこんなにも表情が変わ
るのかと感動した。しかも全て皆で整備・作ったもの！
これからの変化も楽しみになった。

花壇に集まれ！セレトナ緑化大作戦⑧

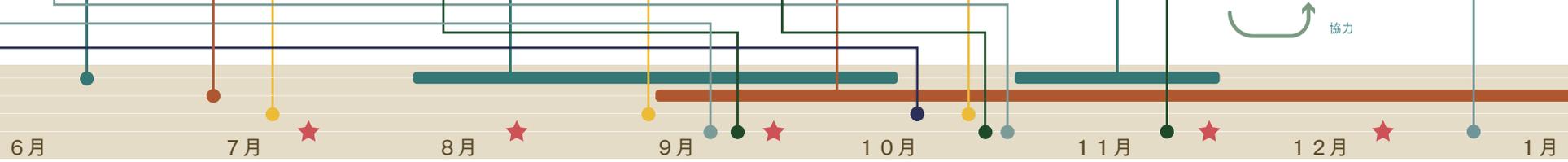


葉牡丹を建物入り口の目の前に寄せ植えた。4人で
せせと、ああでもないこうでもない工夫しながら
植えた。私は普段全く土を触らないので難しかったが、
手慣れている皆さんに教えてもらいながら頑張った。
この日初めて設計の話館長さんと講師の桃原さんに
したら、なんと敷地に来てくれることに！ありがたい・・・

桃原さん セレトナ館長 敷地訪問



緑化大作戦の講師であり神田を拠点に造園デザイ
ナーをしている桃原さんと、セレトナの館長に敷
地に来ていただいた。市に取り組みをプレゼンし
て予算を貰うことはできるが、仲間や近隣住民の
意見が必要であること、落ち葉拾いや花壇整備な
どできることからやるべきと教えていただいた。



3. 周辺地域の自然整備でこどもたちのあそび場をつくる

仲間たちと自然整備大作戦

基地の活動を通してできた仲間たちとちびっ子広場を整
備する。はじめは落ち葉拾い・花壇のお手入れをコツコ
ツする。人が増えてきたら大府市に危険な木や汚いため
池のかいばり、ほとんど崖になっている道の整備などを
申請する。全てやってもらうのではなく、自分たちも一
緒にできることをしたい。

綺麗になったため池のビオトープ化

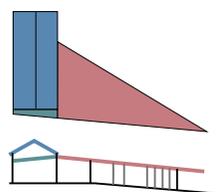
セレトナと合同で自然でいっぱいの場所に変える。植
栽計画や掃除からできたビオトープで自然観察のイ
ベントをしたり、気軽に眺められるよう手すりやベンチ
を設置する。

4. 集い、発信する

裏表で顔の変わるギザギザスペース

壁をギザギザにすることで、
裏と表・角と空白をつくる。
基地の内側ではそれぞれの角
を利用してマルシェや小さな
アトリエを開き、外側では外
に見えるギャラリーにする。

新築部分だが、工房にも連続
した庇を増築することで新旧
の建物を繋ぐ。また、くつろ
ぎスペースから池周辺の桜並
木が見えるよう、作業場で発
掘した建具をはめる。

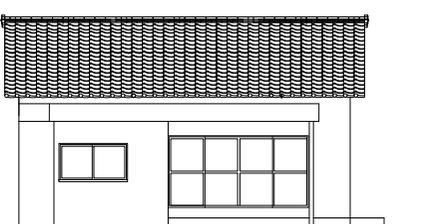
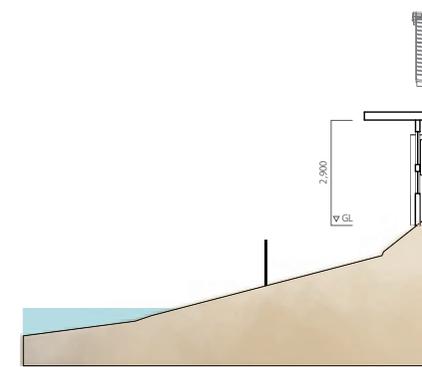




提案図面

— : 新築部分 → : 家族の動線 → : 地域の人々の動線 → : 基地内の動線

平面配置図 S 1:50



くつろぎスペース (旧離れ)
東側立面図 S 1:75



も食堂の様子



縁側でお花見をする様子



亀を観察する様子



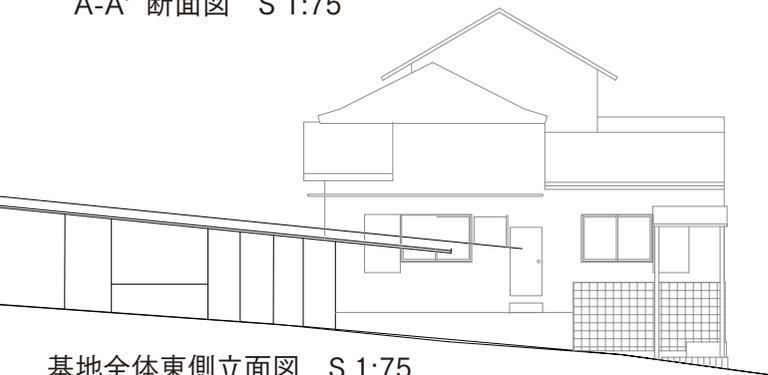
マルシェの様子



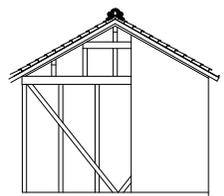
池からギャラリーを見る



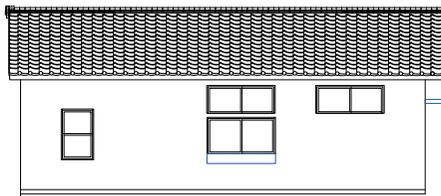
A-A' 断面図 S 1:75



基地全体東側立面図 S 1:75



テラス (旧作業場)
西側立面図 S 1:75



だれでも工房 (旧作業場)
南側立面図 S 1:75

将来のイメージパース 手作りピザパーティーの様子

